

人工股関節置換術を受ける患者様へ

氏名 (@[Patient.Name]) 様 主治医 () 受持ち看護師 ()

暦日	/ ()	/ ()		/ ()	/ ()
病日	手術前日	手術当日(行くまで)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目
達成目標	手術・麻酔に対する不安が表出できる 手術前の検査が終了し準備が整っている 手術の必要性を理解し同意できる	落ち着いて手術を受けることができる 	鎮痛薬を使用し、痛みの緩和ができる 足のしびれ、腫れがない 傷に異常がない 安静を守ることができる	鎮痛薬を使用し、痛みの緩和ができる 足のしびれ、腫れがない 傷に異常がない ベッドから起きることができる 脱臼しないために生活上の留意点が理解できる	鎮痛薬を使用し、痛みの緩和ができる 足のしびれ、腫れがない 傷に異常がない 車いすに乗ることができる 脱臼しないために生活上の留意点が理解できる
治療 処置 薬剤 リハビリ	髭剃り、爪切りをしてもらいます 弾性ストッキングのサイズを測定します <準備するもの> 浴衣1着 バスタオル1枚 	内服薬がある方は看護師が持ってきますので内服してください 手術前に手術着に着替えます 手術しない方の足にストッキングをはきます 手術開始が9時以外の方は9時頃から点滴を開始します	点滴や酸素マスクをしています 翌日まで心電図モニター装着します こまめに体温や血圧を測ります 身体の向きを変える時は看護師と一緒にいきます 抗菌薬の点滴が定期的にあります 脱臼予防枕を使用します	平日はリハビリが開始になります 寝ているときは外転予防枕を使用します (枕は術後2週間使用します) 抗菌薬、鎮痛薬の点滴があります 血栓予防の内服が開始になります 	傷のガーゼ交換があります 抗菌薬、鎮痛薬の点滴があります 
検査	入院後に採血があります			起床後に採血があります	
活動 安静度	普段と変わりありません		ベッド上安静で過ごしてもらいます 頭元を少し上げたり、横を向くことができますが、痛みが強くなったり尿の管が抜けたりするため看護師と一緒にいきます	動く時は車椅子を使用しましょう (慣れるまではナースコールを押していただき、看護師が車椅子移乗の介助や見守ります)	車椅子を使用しましょう (慣れるまではナースコールを押していただき、看護師が車椅子移乗の介助や見守ります)
栄養 (食事)	普段と変わりありません 絶飲食を開始する時間の説明があります	絶飲食の時間を守ってください 食事()時まで可 飲水()時まで可	麻酔の影響により術後は絶飲食です 開始については医師や看護師が手術後に伝えます 	朝食を半分以上摂取出来れば持続点滴は終了します	制限はありません
清潔	洗髪、清拭をします			傷を汚さないように清拭を行います	傷が防水可能となった場合シャワー浴ができます(最初は看護師が介助いたします)
排泄	手術前日は排便がある事を確認します 排便がない場合には、坐薬や浣腸などを行いますので、お知らせください		尿の管が入っており自然に出ているので心配はいりません 排便はベッドの上ですることになります 方法はその際に説明します	尿の管を抜くか一緒に検討します (リハビリの状況に応じて考えます)	トイレにて排泄します

説明 指導	<p>麻酔科医師や手術室看護師からの説明があります 喫煙は控えてください (喫煙すると手術はできません) 手術後リハビリ目的のために転院の流れとなりますので、希望の転院先を聴取します</p>		<p>長い間仰向けになりますので、 苦痛を伴うと思います 自分で動かずに看護師にお伝えください</p>	<p>痛みが強い時や体の向きを変えたいときには、 我慢せずに看護師に伝えてください 手術した足は脱臼しやすくなっています 注意点について看護師や理学療法士と 確認しましょう</p>	
暦日	/ () ~ / ()	/ () ~ / ()	/ () ~ / ()	/ () ~ / ()	
病日	手術後 3 日目 ~ 6 日目	手術後 7 日目 ~ 10 日目	手術後 11 ~ 19 日目		
達成目標	<p>鎮痛薬を使用し、痛みの緩和ができる 傷に異常がない リハビリに意欲的に参加することができる 車椅子で移動ができる 脱臼しないために生活上の留意点が理解できる</p>	<p>鎮痛薬を使用し、痛みの緩和ができる 傷に異常がなく、抜糸ができる リハビリに意欲的に参加することができる 自室のトイレまで行くことができる 脱臼しないために生活上の留意点が理解できる 退院の準備を始めることができる</p>	<p>鎮痛薬を使用し、痛みの緩和ができる 傷に異常がない リハビリに意欲的に参加することができる 病棟内を歩行することができる 脱臼しないために生活上の留意点が理解できる 退院の準備が整っている</p>		
治療 処置 薬剤 リハビリ	<p>平日はリハビリがあります 術後 3 日目より抗菌薬の内服があります</p>	<p>リハビリをしましょう 痛みに合わせて車椅子や歩行器を使用しましょう 手術後 10 日目で創の治癒が良好の場合、抜糸を実施します</p>	<p>土日祝日は病棟内を歩行器や杖で歩行訓練しましょう</p>		
検査		術後 7 日目に採血、足のレントゲンあります	術後 14 日目に足のレントゲンがあります		
活動 安静度	<p>車椅子や歩行器、杖を使用しましょう 慣れるまではナースコールを押していただき、 看護師が車椅子移乗の介助や見守りを行います</p>	<p>リハビリ状況と相談しながら車イスや歩行器、杖歩行をしましょう 慣れるまではナースコールを押していただき、看護師が歩行介助や見守りを行います</p>	<p>リハビリ状況と相談して、歩行しましょう</p>		
栄養 (食事)	普段と変わりありません				
清潔	<p>傷が防水可能となった場合、シャワー浴ができます (最初は看護師が介助いたします)</p>	<p>看護師が介助のもとシャワー浴実施します。 移動動作が安定するようになれば、シャワー浴は自立になります</p>			
排泄	トイレで排泄します				
説明 指導	<p>理学療法士を相談しながらリハビリを進めましょう 疼痛がある場合には看護師に伝えてください 脱臼しやすい肢位を取らないように気を付けて生活しましょう</p>	<p>希望の転院先の確認を行い、転院調整を開始します 転院調整については地域連携室のスタッフが調整しますので、ご案内します 転院に関しましては、転院日が決まり次第お知らせします</p>	<p>退院、転院の前日に創部の確認をします</p>		